

平成27年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	市政協同
議員名	
調査実施年月日	平成27年度7月1日
調査先 自治体名等	岩手県宮古市
調査項目	宮古港湾・魚菜市场について
調査目的	港湾活用について
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口：56,136人(H27.11現在) 行政面積：1256.89 km²</p> <p>2 視察内容</p> <p>宮古市は、3年後の本市とのフェリー航路就航が進められているということもあり、今後の連携を考えるにあたり、宮古市の港湾の状況を視察させていただいた。</p> <p>視察の内容としては、宮古市の港湾の概要について今後室蘭との就航が予定されるフェリーを含めて、担当の方からお話をうかがった。</p> <p>宮古市の港湾の産業としては、主に漁業としての利用が多く、その他の産業として木材加工業が港湾の敷地に立地している。</p> <p>フェリーは、これまで就航したことはなく、室蘭との就航が実現すると、初めてのフェリー航路となるとのことであり、岩手県としても初のフェリー航路となるとのことであった。</p> <p>現在復興道路としても整備が進められている地域高規格道路、宮古盛岡横断道路は、フェリー物流の要のトラック輸送に大きな役目を果たすとされており、フェリー就航までに開通するよう働きかけているとのことであった。さらには、今後仙台方面とのアクセス向上も期待されており、南方面への物流も今後の検討ということであった。</p> <p>港湾現地も視察させていただいたが、フェリーターミナル用の敷地はすでに確保されており、具体の整備計画についてもうかがうことができた。</p> <p>課題としては、初めての試みということもあり、市民意識の醸成をいかに図るか、県にフェリー航路に注力してもらうための働きかけをしていくことが挙げられていた。</p>
感想(まとめ) 本市へ生かせること 等	<p>現在フェリーの就航路線がない本市にとって、宮古市とのフェリー航路の就航には、市民の大きな期待がかけられております。このフェリー航路を着実なものとするのが、室蘭市の港湾行政にとって非常に重要であると考え、宮古市の視察を致しましたが、何よりもまず、宮古市のフェリーへかける強い想いを感じる事が出来たことは大きな収穫でありました。実際に現地を訪れることで、フェリー就航までに室蘭としても市民の意識醸成やフェリーターミナルの整備・市と物流業界との連携の必要性など行うべき課題を確認することが出来た。</p> <p>3年後の就航を見据え、明らかとなった課題にしっかりと取り組んでいきたい。</p>

